



蕪川地区
台之郷町5区

1%まちづくり事業

「高齢者の仲間づくり」

5年後、10年後に向けて「住みやすい。住んでいてよかった。」と思える人と人との「つながりのある地域」をめざし「地域のお宝」としてご紹介します。



台之郷町5区では、太田市1%まちづくり事業の助成を受け、10年前から“高齢者の居場所づくり”に取り組んでいます。

第2・4金曜日の午後は、健康麻雀。12時から17時まで5時間プレーし、成績によって、優勝・準優勝・3位・参加賞の景品が用意されています。地元の方だけでなく尾島や強戸地区等からも参加者がいて、現在は16名の方が参加しています。

また、第2・4水曜日の午後は、手芸と体操。参加者は女性8名前後で、楽しくおしゃべりをしながらペットボトルホルダーや毛糸たわし等を制作しています。手芸がひと段落したら椅子に座ってできるストレッチを行い、手芸で疲れた手指をほぐし体を伸ばします。



亀山進さん



菰川ふれあいまつりに毎年出品している干支の作品を持って記念撮影！他にもエプロンに刺繍を入れたりクッションや帽子、座布団など、様々な作品を作ります。

「調子が悪く、細かい手芸をするのが難しい時でも、ここに来ておしゃべりするだけでも楽しい。こういう機会があり、無理のない範囲で参加できることは本当にありがたいです」と参加者の遠藤志津子さんはお話しくれました。

1%まちづくり事業「高齢者の仲間づくり」代表で、お茶菓子の購入や健康麻雀の出欠確認など運営全般を担っています。元気の秘訣は、積極的に外に出て活動し、多くの人と交流すること。ご自身も参加する健康麻雀では、欠席者に電話連絡し、体調を気づかっています。

健康麻雀に参加の皆さん

健康麻雀の魅力を何うと「賭けないから気楽にできること」や「奥が深いこと。前のゲームでは良い線まで行っていたけれど、次のゲームでは全く勝てなかったり、それが面白い」と皆さん教えてくれました。



参加者の富宇加さんは通い始めて3年目。この仲間は、ここに通うまで会ったこともなかったけれど、参加するようになって知り合いとなったそうです。「麻雀自体は20歳くらいからやっているの、ここに来て仲間と楽しく麻雀できるのが良い」とお話しされました。



チェックポイント

高齢になるにつれ、外出の機会が少なくなる方も多一中、台之郷町5区では1%まちづくり事業の助成金を活用し、高齢者の“外出のきっかけづくり”に取り組んでいます。麻雀と、手芸・体操どちらの参加者も、プレーや作品作りを楽しむだけでなく、他の方とのおしゃべりも楽しみにされていて、まさに“仲間づくり”の機会にもなっています。